保管用 第1版 56227

ご使用前に必ずお読みください。

TaJIma

「墜落制止用器具」

取扱説明書

安全ブロック接続ストラップ

このたびは、《安全ブロック接続ストラップ》をお買い上げいただきありがとうございます。本製品は、フルハーネスに取付けて用いる安全ブロックのフックを接続するための製品です。フルハーネスの取扱いについては、フルハーネスの取扱説明書を併せてお読みください。
ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、内容をよくご理解の上、ご使用ください。⚠危険・⚠警告・⚠注意の項目は、事故を未然に防ぐために厳守してください。
この取扱説明書は、いつでも活用できるよう大切に保管してください。

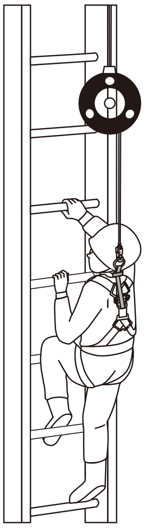
取扱説明書を紛失された場合は、弊社HPにも掲載しておりますので、プリントアウトして保管してください。
HPアドレス：https://jpn.tajimatool.co.jp
(HPトップページにある「取扱説明書」のボタンをクリックしてください)

●目次

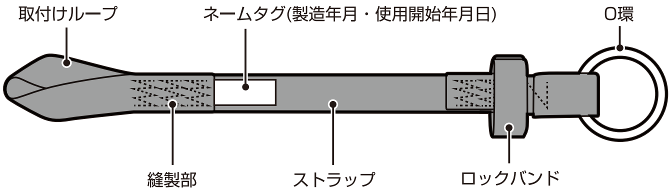
	ページ		ページ
1.用途	2	5.点検と廃棄の基準	6
2.構造、各部名称	2	6.保管と手入れのしかた	7
3.使い方	3	7.交換の目安（耐用期間）	7
4.必ずお守りください（使用上の注意事項）	4	8.性能	8

1. 用途

本製品はフルハーネスの背中のD環に取付け、安全ブロックのフックを目視しながら接続するための製品です。他の用途には使用しないでください。

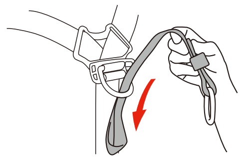


2. 構造、各部名称

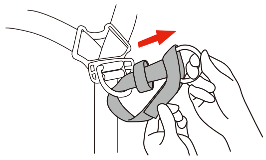


3. 使い方

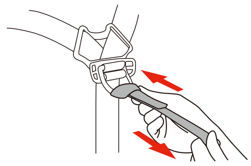
フルハーネスのD環への取付け方法



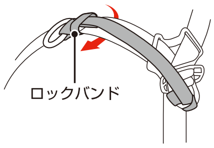
①フルハーネスのD環に安全ブロック接続ストラップの取付けループを通します。



②取付けループに安全ブロック接続ストラップのO環側を通します。

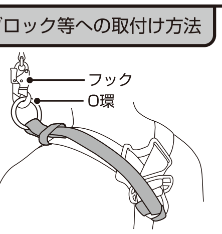


③O環側を引出し、取付けループをしっかり締め、整えます。

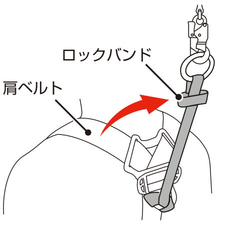


④ロックバンドで肩ベルトに留めます。(取付け完了)

安全ブロック等への取付け方法



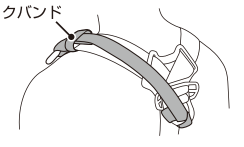
①安全ブロックのフックを安全ブロック接続ストラップのO環に掛けます。
※フックが確実に掛かっていることを目視で確認してください。



②ロックバンドを外し、安全ブロック接続ストラップを肩ベルトから外します。
※肩ベルトから外さないと墜落制止時に首に掛かる恐れがあります。

作業終了時

フックを外した後は安全ブロック接続ストラップをロックバンドで肩ベルトに留めておきます。



4. 必ずお守りください（使用上の注意事項）

⚠危険 誤った使い方をしますと、墜落などの危険性がありますので、絶対にやめてください。

●鋭い角に触れないようにしてください。

安全ブロック接続ストラップが墜落時に鋭い角に触れるおそれのある所では使用しないでください。
墜落制止時に鋭い角で安全ブロック接続ストラップが切断することがあり危険です。したがって、鋭い角のある構造物を避けて安全ブロックのフックを掛けかえるか、または構造物に丈夫な布などの保護材を巻いてご使用ください。

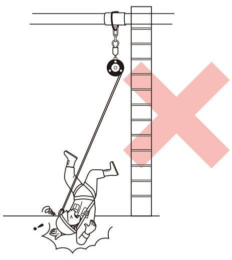
●O環にランヤードのフックを接続しないでください。

先端のO環にランヤードのフックを接続して使用しますと墜落阻止時の落下距離が長くなり衝撃荷重が大きくなります。

⚠警告 誤った使い方をしますと、墜落などのおそれがありますので、やめてください。

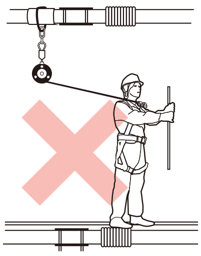
●地面近くでは昇降に注意してください。

●墜落制止時に床面または下方の障害物に接触しない高さでご使用ください。



●使用時は肩ベルトから外してください。

安全ブロック接続ストラップを肩ベルトに留めたままの状態で使用しないでください。
墜落制止時に、安全ブロック接続ストラップが首に掛かって事故のもとになります。



●墜落災害の防止用ですので他の用途には使用しないでください。

●−10℃〜50℃の範囲で使用してください。

安全ブロック接続ストラップが火気または高温部に触れないようにしてください。なお、使用温度が−10℃〜50℃以内であっても、水に濡れて凍結すると損傷するおそれがあります。使用する上で異常がないか確認しながらお使いくださ

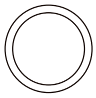
●酸・アルカリを付着させないでください。

溶接の火花、強い酸やアルカリ、油、その他高温高熱の物体や化学薬品が製品に付着しないようにしてください。

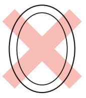
●雨の日は感電に注意してください。

●一度でも大きな荷重が加わったものは廃棄してください。

下図のようにO環が変更・破損していれば、大きな外力が加わった可能性があります。安全ブロック接続ストラップ全体を廃棄してください。



正常なO環の状態



一度墜落阻止したO環の状態

外見上の変形がなくても、一度でも大きな荷重が加わったものは再び落下すると衝撃荷重が大きくなり、人体に損傷を及ぼすおそれがあります。

注意 安全にお使いいただくためにお守りください。

●丁寧に扱ってください。

安全ブロック接続ストラップを引きずりますと、砂などの異物が付着したり摩耗したりします。使用しない時は収納してください。

●屋外に放置しないでください。

ストラップは合成繊維製のため紫外線によっても強度が低下します。

5. 点検と廃棄の基準

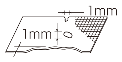
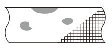
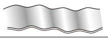
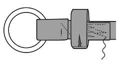
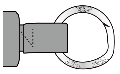
安全ブロック接続ストラップは消耗品であり、使用しているうちに摩耗等により性能が低下します。従って点検において１項目でも廃棄基準に達しているものは、機能不良や強度不足になりますので新品と取替えてください。

始業点検　：使用する人が作業前（装着時）に毎回行ってください。
点検後地上で装着し、異常のないことを確認してください。
定期点検　：使用する人もしくは管理者により１カ月ごとに行ってください。
異常時点検：作業中に異常を感じたら直ちに作業を中止し、再点検を行ってください。

●点検チェックリスト 日常の点検を励行してください

廃棄基準に達しているものは新品と取替えてください。
（このチェックリストをコピーして点検時にご使用ください）

〇：異常なし
✕：異常あり
年　月　日

点検項目	点検方法と廃棄基準		判定
ストラップ		耳または幅の中で 1mm 以上の損傷・焼損・擦り切れのあるもの。	
		全体的に磨耗・毛羽立ち・著しい汚れがあるもの。（素手で確認）	
		薬品が付着したもの。薬品により変色・溶解箇所があるもの。	
		塗料が著しく付着して、硬化しているもの。	
		全体的に波打っていたり、ねじれたり、変形しているもの。	
		ロックバンドが破れているもの。	
		縫製部に緩みがあるものや縫糸が磨耗したり、1箇所以上切断しているもの。	
	使用開始から２年を経過しているもの。（損傷がなくても紫外線によって劣化し、強度が低下します）		
O環		深さ 1mm 以上の傷や摩滅があるもの。	
		目視で分かる程度の大きな変形のあるもの。	
		全体に赤錆または著しい腐食が発生しているもの。	

廃棄について：金属部分と合成繊維部分（またはプラスチック）は分別して廃棄処理してください。

6. 保管と手入れのしかた

●次のような場所で保管してください。

①直射日光に当らない所。
②風通しがよく、湿気のない所。
③火気・放熱体などが近くにない所。
④腐食性物質を置いていない所。
⑤塵埃の少ない所。
⑥子供が遊びに使ったり、動物が製品に損傷を与えたりしないような場所。

●物品の下積みなどにより傷や変形が起こらないようにしてください。

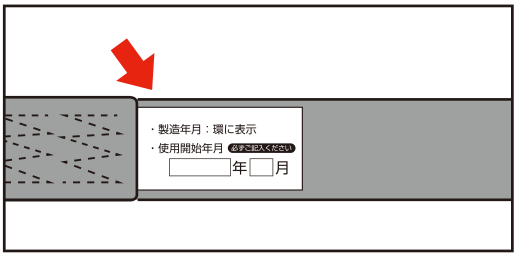
●ストラップに泥・埃・油・塗料が付着している場合は、乾いた布などで拭き取ってください。

●金具に付着した砂・土・水などは拭き取ってください。

7. 交換の目安（耐用期間）

使いかたによって異なりますが、交換の目安としては使用開始年月より2年くらいを目途としてください。ただし、耐用期間内であっても「5.点検と廃棄の基準」にしたがって点検を必ず実施して、新品と取替えてください。廃棄基準に達したものは使用しないで、新品と取替えてください。

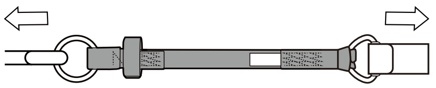
●使用を開始した年月をベルト裏面に縫い付けてあるラベルに必ず記入してください（下図参照）。



8. 性能

●各部の強度

この数値は新品時の引張り強度（静荷重）です。特に繊維部分の強さは、使用により摩耗・紫外線劣化・その他の要因によって経年とともに低下します。「5.点検と廃棄の基準」の項目を参照して、始業（定期）点検を十分に行ってください。

試験方法	「墜落制止用器具の規格」
	15.0kN 以上

製品に関するお問い合わせは

https://jpn.tajimatool.co.jp/inquiry

TEL 0120-125577

受付時間：
月曜日〜金曜日 9:00〜17:00
（12:00〜13:00/祝日・当社指定休日を除く）

株式会社TJMデザイン

本社/〒174-8503 東京都板橋区小豆沢3-4-3
https://jpn.tajimatool.co.jp

SZ211104